

労働力調査（基本集計）

2024年(令和6年)7月分

結果の概要

【就業者】

- ・就業者数は6795万人。前年同月に比べ23万人の増加。24か月連続の増加
- ・雇用者数は6113万人。前年同月に比べ28万人の増加。29か月連続の増加
- ・正規の職員・従業員数は3642万人。前年同月に比べ34万人の増加。9か月連続の増加。
非正規の職員・従業員数は2114万人。前年同月に比べ29万人の減少。3か月連続の減少
- ・主な産業別就業者を前年同月と比べると、「医療、福祉」、「学術研究、専門・技術サービス業」などが増加

【就業率】（就業者／15歳以上人口×100）

- ・就業率は61.8%。前年同月に比べ0.4ポイントの上昇
- ・15～64歳の就業率は79.6%。前年同月に比べ0.5ポイントの上昇

【完全失業者】

- ・完全失業者数は188万人。前年同月に比べ5万人の増加。4か月連続の増加
- ・求職理由別に前年同月と比べると、「勤め先や事業の都合による離職」が前年同月と同数。「自発的な離職（自己都合）」が7万人の増加。「新たに求職」が前年同月と同数

【完全失業率】（完全失業者／労働力人口×100）

- ・完全失業率（季節調整値）は2.7%。
前月に比べ0.2ポイントの上昇

【非労働力人口】

- ・非労働力人口は4005万人。前年同月に比べ60万人の減少。29か月連続の減少

原数値	実数 (万人、%)	対前年同月増減 (万人、ポイント)			
		7月	6月	5月	4月
15歳以上人口	10995	-34	-26	-28	-23
労働力人口	6983	28	39	27	13
就業者	6795	23	37	21	9
男	3722	9	11	-4	-1
女	3074	15	28	25	10
自営業主・家族従業者	643	-12	2	-11	-22
雇用者	6113	28	30	33	30
役員を除く雇用者	5757	6	19	17	23
正規の職員・従業員	3642	34	31	20	2
非正規の職員・従業員	2114	-29	-12	-4	20
(主な産業別) 就業者					
農業、林業	197	4	6	1	-3
建設業	485	11	0	5	2
製造業	1045	-9	-8	-7	-27
情報通信業	283	4	1	4	9
運輸業、郵便業	321	-24	-17	-3	-3
卸売業、小売業	1072	9	31	16	5
金融業、保険業	145	-9	-8	0	-4
不動産業、物品賃貸業	134	-1	-1	-3	0
学術研究、専門・技術サービス業	266	13	9	6	6
宿泊業、飲食サービス業	406	1	3	13	25
生活関連サービス業、娯楽業	230	0	7	-9	-9
教育、学習支援業	340	-10	-2	15	9
医療、福祉	933	19	7	-4	8
サービス業(他に分類されないもの)	458	-8	1	-2	-2
就業率	61.8	0.4	0.5	0.3	0.2
うち15～64歳	79.6	0.5	0.5	0.2	0.2
男	84.9	0.3	0.4	-0.1	0.0
女	74.1	0.6	0.7	0.7	0.4
うち20～69歳	81.3	0.6	0.7	0.4	0.2
完全失業者	188	5	2	5	3
(求職理由別) 完全失業者					
非自発的な離職	47	-2	2	0	0
うち勤め先や事業の都合	25	0	0	-2	-3
自発的な離職（自己都合）	82	7	3	5	6
新たに求職	46	0	1	3	0
非労働力人口	4005	-60	-65	-55	-34

季節調整値	実数 (%)	対前月増減 (ポイント)			
		7月	6月	5月	4月
完全失業率	2.7	0.2	-0.1	0.0	0.0
男	2.7	0.1	-0.3	0.1	0.1
女	2.6	0.2	0.1	-0.1	-0.2

図1 就業者数の対前年同月増減と就業率の対前年同月ポイント差の推移

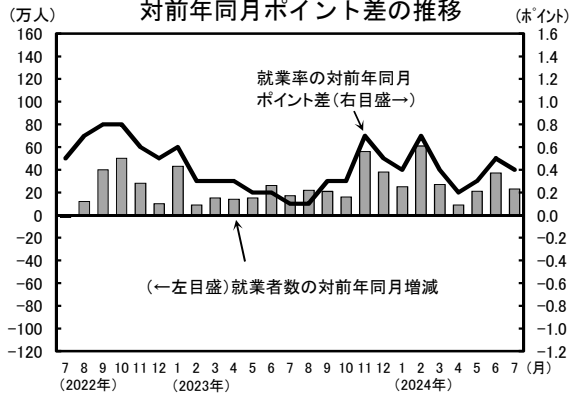
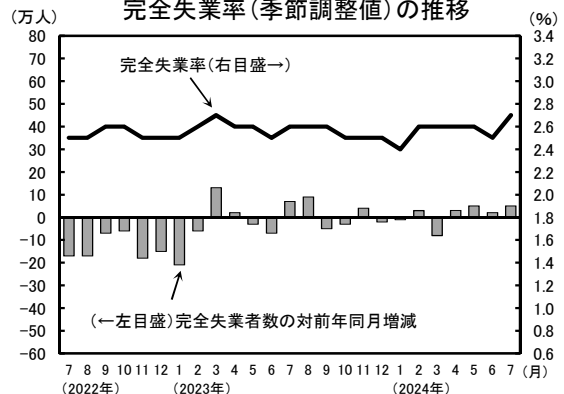


図2 完全失業者数の対前年同月増減と完全失業率(季節調整値)の推移



I 就業者の動向

1 男女別就業者数

- ・就業者数は6795万人。前年同月に比べ23万人(0.3%)の増加。24か月連続の増加。
男性は3722万人。9万人の増加。
女性は3074万人。15万人の増加

図3-1 就業者数の推移(男女計)

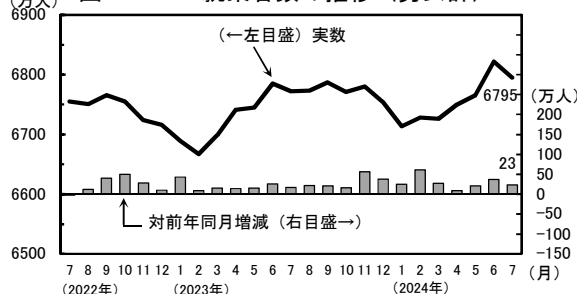
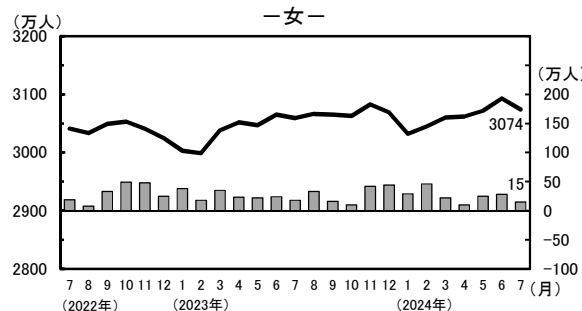
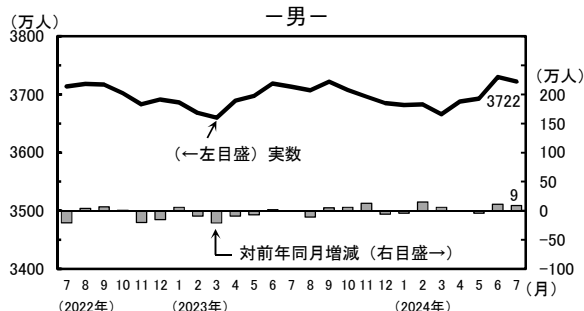


図3-2 就業者数の推移(男女別)



2 従業上の地位別就業者数

- ・自営業主・家族従業者数は643万人。前年同月に比べ12万人(1.8%)の減少
- ・雇用者数は6113万人。前年同月に比べ28万人(0.5%)の増加。29か月連続の増加。
男性は3289万人。前年同月と同数。
女性は2824万人。28万人の増加

表1 従業上の地位別就業者数(万人)

	2024年 7月	対前年
	実数	同月増減
就業者	6795	23
自営業主・家族従業者	643	-12
雇用者	6113	28
男	3289	0
女	2824	28

3 雇用形態別雇用者数

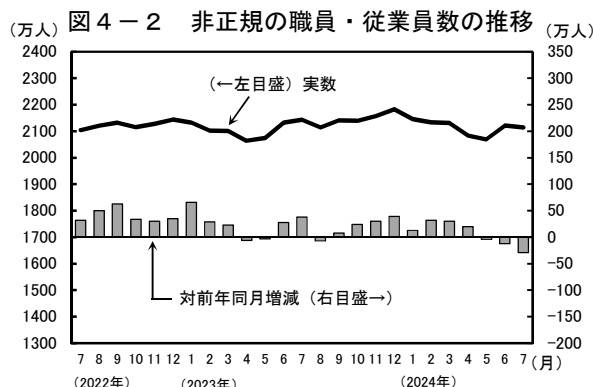
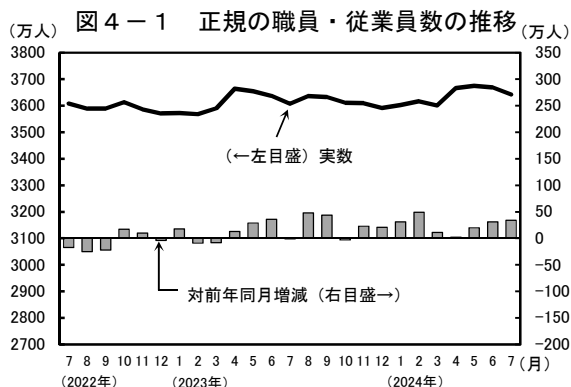
- ・正規の職員・従業員数は3642万人。前年同月に比べ34万人(0.9%)の増加。9か月連続の増加
- ・非正規の職員・従業員数は2114万人。前年同月に比べ29万人(1.4%)の減少。3か月連続の減少
- ・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は36.7%。前年同月に比べ0.6ポイントの低下

表2 雇用形態別雇用者数

(万人、%)

2024年 7月	男女計			男			女		
	実数	対前年同月増減	割合	実数	対前年同月増減	割合	実数	対前年同月増減	割合
役員を除く雇用者	5757	6	-	3024	-16	-	2732	21	-
正規の職員・従業員	3642	34	63.3	2357	16	77.9	1285	18	47.0
非正規の職員・従業員	2114	-29	36.7	667	-32	22.1	1447	3	53.0
パート	1033	-9	17.9	130	3	4.3	904	-11	33.1
アルバイト	469	-15	8.1	231	-13	7.6	237	-3	8.7
労働者派遣事業所の派遣社員	146	-2	2.5	56	-11	1.9	90	9	3.3
契約社員	275	-5	4.8	142	-6	4.7	133	1	4.9
嘱託	107	1	1.9	71	1	2.3	36	0	1.3
その他	85	1	1.5	38	-5	1.3	47	6	1.7

注)割合は、「正規の職員・従業員」と「非正規の職員・従業員」の合計に占める割合を示す。

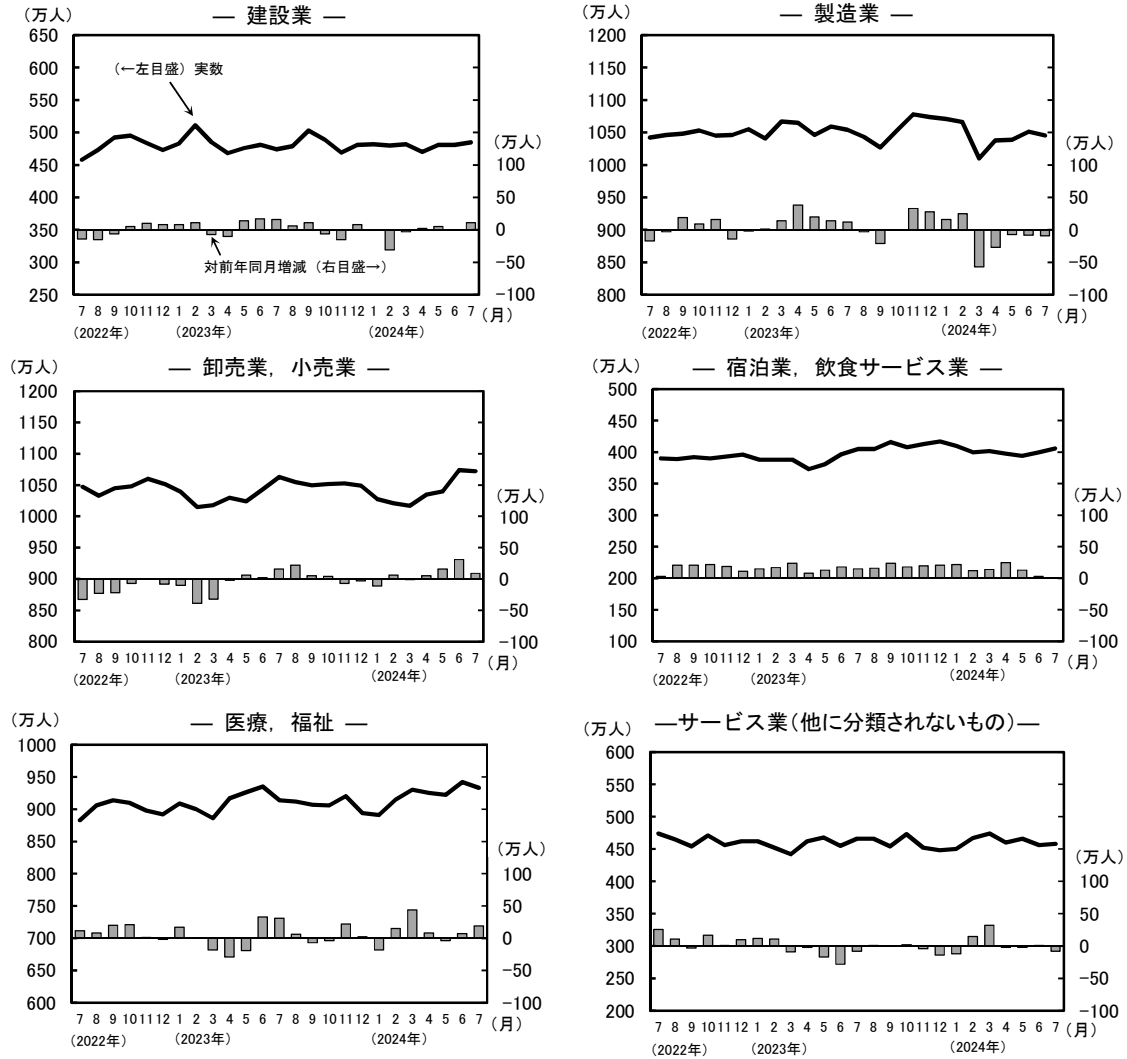


4 主な産業別就業者数

表3 主な産業別就業者数

2024年7月	農業、 林業	非農林業	建設業	製造業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産 業、物品 賃貸業	学術研究、 専門・ 技術 サービス業	宿泊業、 飲食 サービス業	生活関連 サービス業、 娯楽業	教育、 学習 支援業	医療、 福祉	サービス業 (他に分類 されないもの)
実数	197	6598	485	1045	283	321	1072	145	134	266	406	230	340	933	458
対前年同月 増減	4	19	11	-9	4	-24	9	-9	-1	13	1	0	-10	19	-8
対前年同月 増減率(%)	2.1	0.3	2.3	-0.9	1.4	-7.0	0.8	-5.8	-0.7	5.1	0.2	0.0	-2.9	2.1	-1.7

図5 主な産業別就業者数の推移



5 就業率

- ・就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)は61.8%。前年同月に比べ0.4ポイントの上昇
- ・15~64歳の就業率は79.6%。前年同月に比べ0.5ポイントの上昇。
男性は84.9%。0.3ポイントの上昇。女性は74.1%。0.6ポイントの上昇
- ・20~69歳の就業率は81.3%。前年同月に比べ0.6ポイントの上昇

図6-1 就業率(総数)及び
対前年同月ポイント差の推移

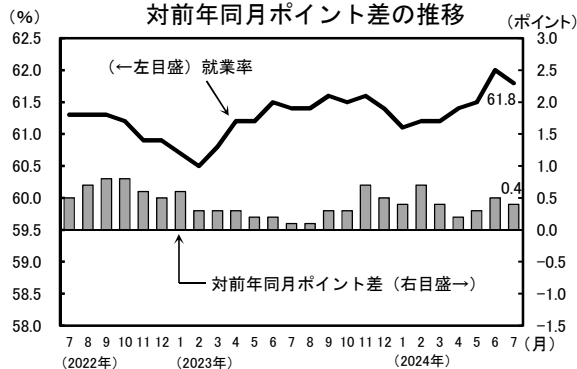
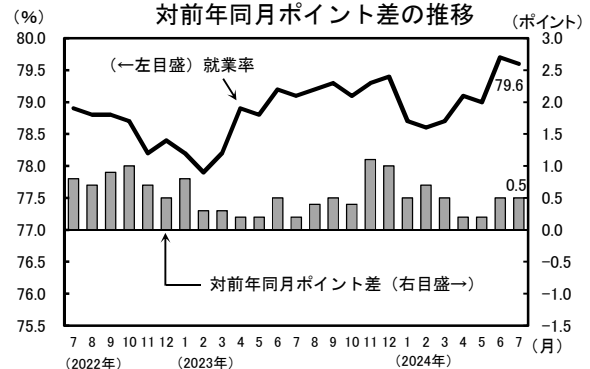


図6-2 就業率(15~64歳)及び
対前年同月ポイント差の推移



Ⅱ 完全失業者の動向

1 男女別完全失業者数

- 完全失業者数は188万人。前年同月に比べ5万人(2.7%)の増加。4か月連続の増加
- 男性は105万人。前年同月と同数。
- 女性は82万人。前年同月に比べ4万人の増加

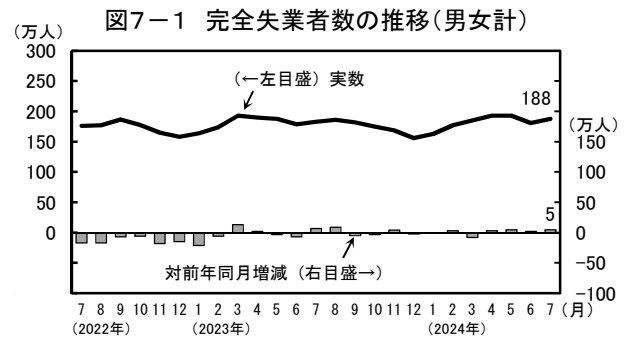
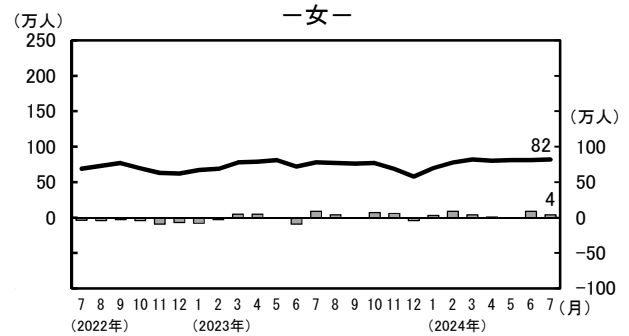
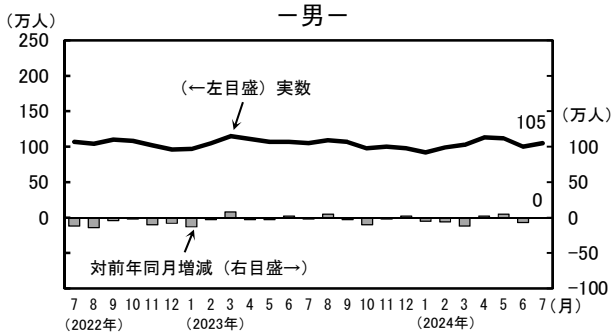


図7-2 完全失業者数の推移(男女別)



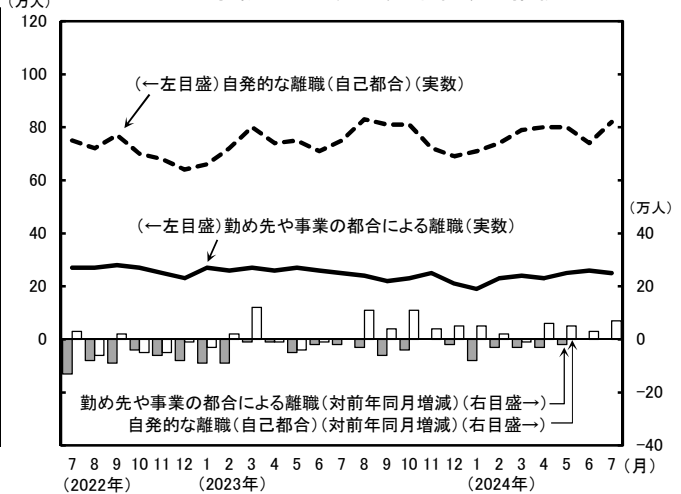
2 求職理由別完全失業者数

- 完全失業者のうち、「勤め先や事業の都合による離職」は25万人と、前年同月と同数、「自発的な離職(自己都合)」は82万人と、前年同月に比べ7万人の増加、「新たに求職」は46万人と、前年同月と同数

表4 求職理由別完全失業者数 (万人)

2024年 7月	男女計	
	実数	対前年同月増減
完全失業者	188	5
仕事をやめたため求職	130	6
非自発的な離職	47	-2
定年又は雇用契約の満了による離職	22	-2
勤め先や事業の都合による離職	25	0
自発的な離職(自己都合)	82	7
新たに求職	46	0
学卒未就職	5	-2
収入を得る必要が生じたから	25	2
その他	17	

図8 主な求職理由別完全失業者数の推移



3 年齢階級別完全失業者数

- 男性の完全失業者数は、「15～24歳」、「45～54歳」及び「65歳以上」の年齢階級で、前年同月に比べ増加し、「25～34歳」、「35～44歳」及び「55～64歳」の年齢階級で、前年同月に比べ減少
- 女性の完全失業者数は、「25～34歳」及び「55～64歳」の年齢階級で、前年同月に比べ増加

表5 年齢階級別完全失業者数 (万人)

2024年 7月	男女計		男		女	
	実数	対前年同月増減	実数	対前年同月増減	実数	対前年同月増減
総数	188	5	105	0	82	4
15～24歳	25	3	13	3	11	0
25～34歳	44	1	22	-2	22	3
35～44歳	32	-2	18	-1	14	-1
45～54歳	36	1	19	1	17	0
55～64歳	36	0	21	-1	15	2
65歳以上	16	2	12	1	3	0
(再掲)55～59歳	17	-2	10	-1	6	-2
(再掲)60～64歳	20	3	11	0	9	4

Ⅲ 季節調整値でみた結果の概要

1 就業者(季節調整値)

- ・就業者数は6766万人。前月に比べ20万人(0.3%)の減少
- ・雇用者数は6104万人。前月に比べ15万人(0.2%)の減少

2 完全失業者(季節調整値)

- ・完全失業者数は187万人。前月に比べ11万人(6.3%)の増加
- ・内訳をみると、
「非自発的な離職」は1万人(2.2%)の減少。
「自発的な離職(自己都合)」は7万人(9.5%)の増加。
「新たに求職」は1万人(2.1%)の増加

注)「非自発的な離職」は、「定年又は雇用契約の満了」及び「勤め先や事業の都合」により離職した者である。
「新たに求職」は、「学卒未就職」、「収入を得る必要が生じたから」及び「その他」の理由により新たに仕事を探し始めた者である。

3 完全失業率(季節調整値)

- ・完全失業率は2.7%。前月に比べ0.2ポイントの上昇(男女別)
- ・男性は2.7%と、前月に比べ0.1ポイントの上昇
- ・女性は2.6%と、前月に比べ0.2ポイントの上昇

4 非労働力人口(季節調整値)

- ・非労働力人口は4032万人。前月に比べ2万人(0.0%)の増加

表6 主要項目の季節調整値

(万人、%、ポイント)

季節調整値	実数	対前月増減			
		7月	6月	5月	4月
就業者	6766	-20	25	10	-9
男	3705	-7	22	-4	1
女	3062	-14	6	14	-12
うち雇用者	6104	-15	15	8	-4
男	3286	-6	5	-6	8
女	2819	-8	11	13	-11
正規の職員・従業員	3635	-17	4	20	13
非正規の職員・従業員	2107	-7	15	-24	-22
完全失業者	187	11	-6	-1	1
男	104	5	-10	3	6
女	83	6	3	-2	-5
非自発的な離職	45	-1	2	0	-2
自発的な離職(自己都合)	81	7	-1	-3	-1
新たに求職	48	1	-4	1	1
完全失業率	2.7	0.2	-0.1	0.0	0.0
男	2.7	0.1	-0.3	0.1	0.1
女	2.6	0.2	0.1	-0.1	-0.2
非労働力人口	4032	2	-14	-15	0
男	1498	-4	-10	0	-11
女	2533	6	-7	-14	13

注)季節調整値の算出に当たっては、項目ごとに季節調整を行っているため、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない(加法整合性は成立しない)。

図9 就業者数(季節調整値)の推移

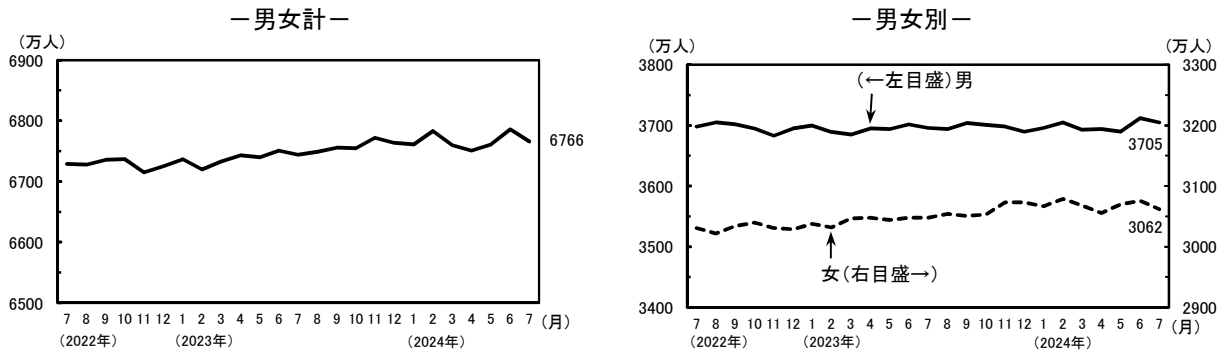


図10 完全失業率(季節調整値)の推移

